

Ⅱ 作物別作付(栽培)面積

1 水陸稲(子実用)

(1) 水 稲

平成25年産水稲(子実用)の作付面積は159万7,000haで、前年産に比べて1万8,000ha(1%)増加した。(表7)

作付面積の動向をみると、昭和44年の317万3,000haを最高に、45年以降は生産過剰基調となった米の需給均衡を図るための生産調整が実施されたこと等から、減少傾向で推移している。(図4)

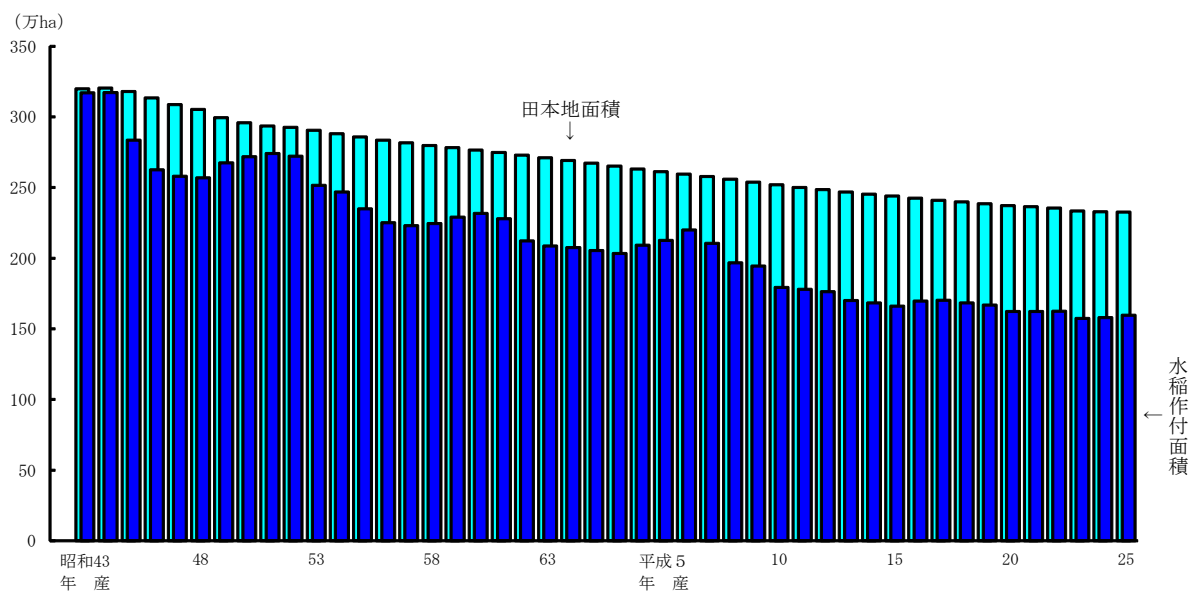
(2) 陸 稲

平成25年産陸稲の作付面積は1,720haで、前年産に比べて390ha(18%)減少した。(表7)

表7 平成25年産水陸稲(子実用)作付面積(全国農業地域別)

全 国 農 業 地 域	水陸稲計			水 稲			陸 稲		
	作 付 面 積	前年産との比較		作 付 面 積	前年産との比較		作 付 面 積	前年産との比較	
		対 差	対 比		対 差	対 比		対 差	対 比
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%
全 国	1,599,000	18,000	101	1,597,000	18,000	101	1,720	△ 390	82
北 海 道	112,000	0	100	112,000	0	100	-	-	nc
都 府 県	1,487,000	18,000	101	1,485,000	18,000	101	1,720	△ 390	82
東 北	406,200	9,500	102	406,200	9,500	102	x	x	x
北 陸	212,700	3,300	102	212,700	3,300	102	3	0	100
関 東・東 山	300,600	3,000	101	298,900	3,400	101	1,700	△ 380	82
東 海	102,300	400	100	102,300	400	100	x	x	x
近 畿	109,400	300	100	109,400	300	100	-	x	x
中 国	115,200	500	100	115,200	500	100	-	-	nc
四 国	56,400	600	101	56,400	600	101	x	x	x
九 州	183,500	200	100	183,500	200	100	x	x	x
沖 縄	890	△ 29	97	890	△ 29	97	-	-	nc

図4 水稲(子実用)作付面積の推移



2 麦 類（子実用）

(1) 4 麦計

平成25年産4麦の作付面積（子実用）は26万9,500haで、前年産並みとなった。（表8）

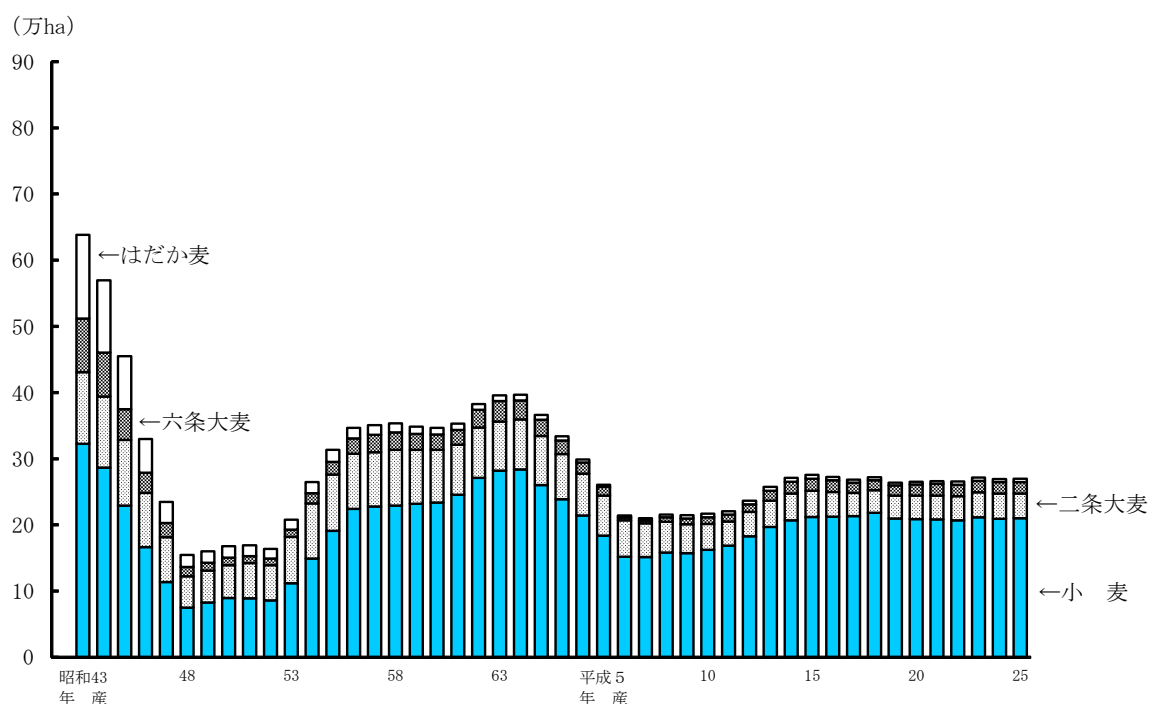
麦種別には、小麦は前年産並みとなったものの、二条大麦及び六条大麦は前年産に比べてそれぞれ800ha（2%）、200ha（1%）減少し、はだか麦は前年産に比べて40ha（1%）増加した。

作付面積の動向をみると、昭和40年代は作付農家数の減少や水田裏作の減少等により年々大幅な減少を続け、48年には15万4,800haと過去最低となった。その後、麦の生産振興策が講じられたことや米の転作作物として田作小麦が増加したこと等により、平成元年には39万6,700haとなった。2年以降は作柄が不安定なことや水田裏作の減少等により再び減少し、7年には21万200haとなった。8年以降は米の需給調整対策の推進等に伴い再び増加傾向で推移したが、14年以降はほぼ横ばいとなっている。（図5）

表8 平成25年産4麦（子実用）作付面積（田畑別）

区 分	計			田			畑		
	作 付 面 積	前年産との比較		作 付 面 積	前年産との比較		作 付 面 積	前年産との比較	
		対 差	対 比		対 差	対 比		対 差	対 比
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%
4 麦 計	269,500	0	100	166,600	△ 1,700	99	102,900	1,600	102
小 麦	210,200	1,000	100	112,300	△ 900	99	97,900	1,900	102
二条大麦	37,500	△ 800	98	34,300	△ 500	99	3,200	△ 260	92
六条大麦	16,900	△ 200	99	15,200	△ 200	99	1,700	10	101
はだか麦	5,010	40	101	4,880	40	101	135	5	104

図5 4麦（子実用）作付面積の推移



(2) 麦種別作付面積

ア 小麦

小麦の作付面積は21万200haで、前年産並みとなった。(表9)

このうち、北海道は12万2,000haで、他作物からの転換等により、前年産に比べて2,800ha(2%)増加した。

一方、都府県は8万8,100haで、九州地域等において他作物への転換等により、前年産に比べて2,000ha(2%)減少した。

イ 二条大麦

二条大麦の作付面積は3万7,500haで、前年産に比べて800ha(2%)減少した。(表9)

このうち、北海道は1,740haで、小麦等への転換により、前年産に比べて250ha(13%)減少した。

一方、都府県は3万5,700haで、関東・東山地域等において他作物への転換等により、前年産に比べて600ha(2%)減少した。

ウ 六条大麦

六条大麦の作付面積は1万6,900haで、前年産に比べて200ha(1%)減少した。(表9)

エ はだか麦

はだか麦の作付面積は5,010haで、前年産に比べて40ha(1%)増加した。(表9)

表9 平成25年産4麦(子実用)作付面積(全国農業地域別)

全国 農業地域	4麦計			小麦			二条大麦			六条大麦			はだか麦		
	作付 面積	前年産との比較		作付 面積	前年産との比較		作付 面積	前年産との比較		作付 面積	前年産との比較		作付 面積	前年産との比較	
		ha	対差		対比	ha		対差	対比		ha	対差		対比	ha
全 国	269,500	0	100	210,200	1,000	100	37,500	△ 800	98	16,900	△ 200	99	5,010	40	101
北 海 道	123,800	2,600	102	122,000	2,800	102	1,740	△ 250	87	-	-	nc	4	4	nc
都 府 県	145,700	△ 2,700	98	88,100	△ 2,000	98	35,700	△ 600	98	16,900	△ 200	99	5,010	40	101
東 北	8,260	△ 230	97	7,260	△ 260	97	x	x	x	997	34	104	-	-	nc
北 陸	9,860	△ 80	99	174	11	107	10	2	125	9,680	△ 90	99	-	-	nc
関 東・東 山	38,800	△ 1,100	97	21,100	△ 400	98	13,000	△ 400	97	4,690	△ 200	96	57	△ 23	71
東 海	15,400	0	100	14,700	△ 100	99	x	x	x	614	34	106	x	x	x
近 畿	9,980	△ 220	98	8,830	△ 230	97	164	△ 21	89	770	16	102	220	x	x
中 国	4,760	70	101	1,630	80	105	2,650	10	100	94	x	x	x	x	x
四 国	4,320	△ 70	98	1,730	△ 70	96	20	x	x	-	-	nc	2,570	0	100
九 州	54,300	△ 1,100	98	32,700	△ 1,000	97	19,900	△ 100	100	10	7	333	1,780	70	104
沖 縄	16	5	145	16	5	145	-	-	nc	-	-	nc	-	-	nc

3 かんしょ

平成25年産かんしょの作付面積は3万8,600haで、前年産に比べて200ha（1%）減少した。

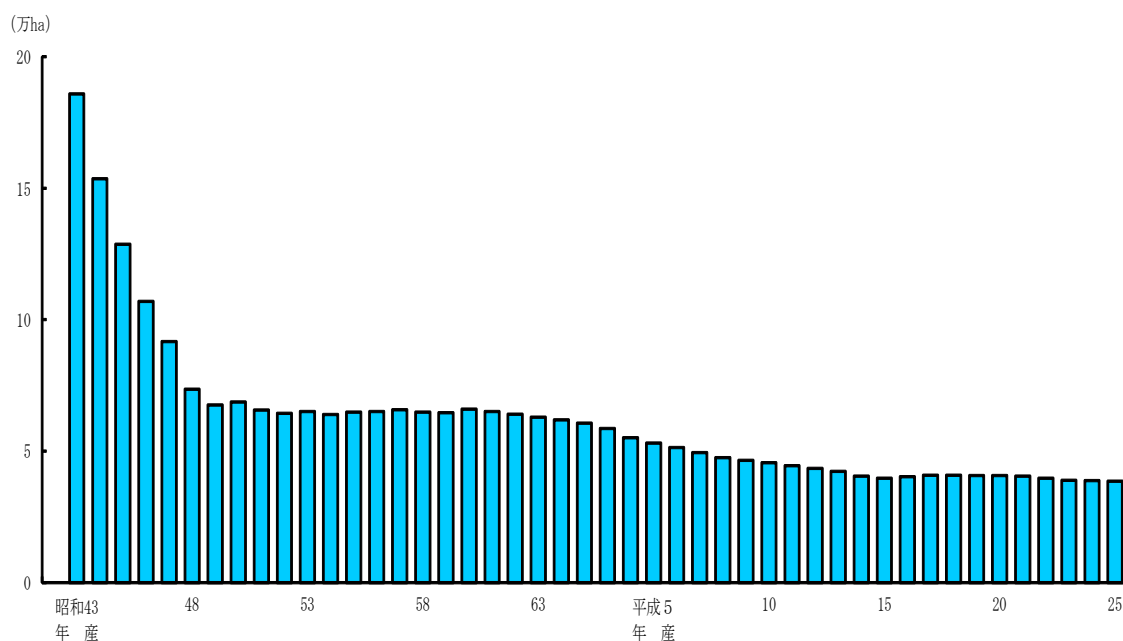
（表10）

作付面積の動向をみると、昭和40年代はかんしょでん粉の需要低下や価格の低下等により大幅に減少し、その後は漸減傾向で推移している。（図6）

表10 平成25年産かんしょ作付面積（全国農業地域別）

全 国 農 業 地 域	計			田			畑		
	作 付 面 積	前年産との比較		作 付 面 積	前年産との比較		作 付 面 積	前年産との比較	
		対 差	対 比		対 差	対 比		対 差	対 比
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%
全 国	38,600	△ 200	99	2,910	△ 100	97	35,600	△ 200	99
北 海 道	11	△ 1	92	6	0	100	5	△ 1	83
都 府 県	38,500	△ 300	99	2,900	△ 110	96	35,600	△ 200	99
東 北	245	△ 18	93	26	1	104	219	△ 19	92
北 陸	700	△ 7	99	84	△ 6	93	616	△ 1	100
関 東・東 山	12,600	△ 100	99	369	△ 6	98	12,200	△ 100	99
東 海	1,710	△ 80	96	110	△ 4	96	1,600	△ 70	96
近 畿	824	△ 36	96	419	△ 16	96	405	△ 20	95
中 国	909	△ 27	97	187	△ 4	98	722	△ 23	97
四 国	2,060	△ 30	99	276	△ 6	98	1,790	△ 20	99
九 州	19,300	100	101	1,420	△ 70	95	17,900	200	101
沖 縄	252	0	100	8	0	100	244	0	100

図6 かんしょ作付面積の推移



4 そば（乾燥子実）

平成25年産そばの作付面積は6万1,400haで、前年産に比べて400ha（1%）増加した。

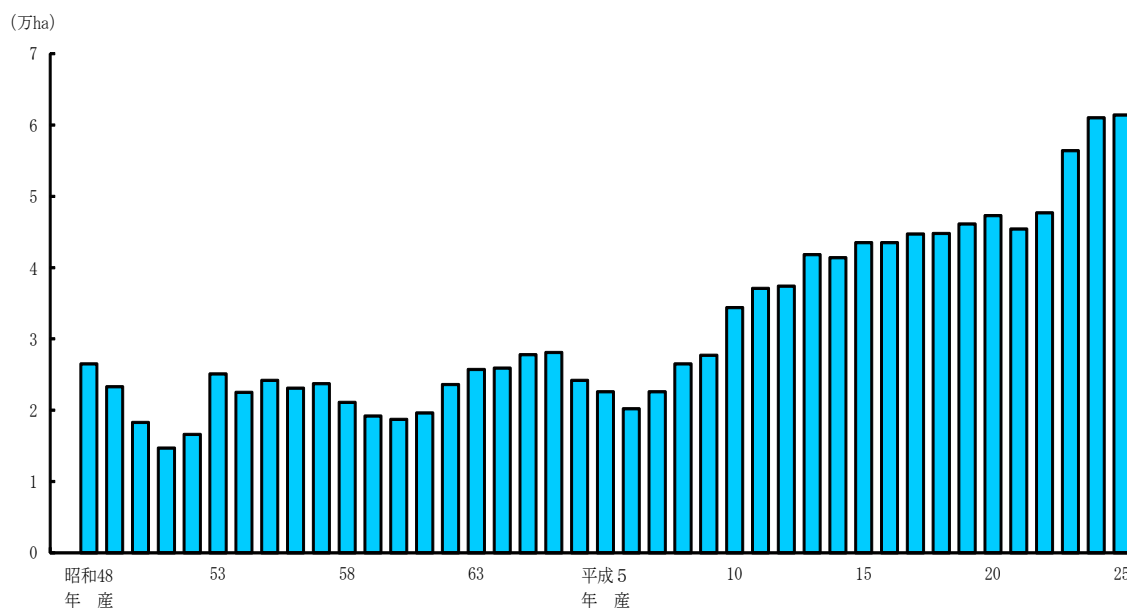
（表11）

作付面積の動向をみると、昭和61年以降増加傾向で推移した後、米の生産調整目標面積の緩和措置等により平成4～6年は減少したものの、7年以降は米の需給調整対策の推進等により再び増加傾向で推移している。（図7）

表11 平成25年産そば（乾燥子実）作付面積（全国農業地域別）

全 国 農 業 地 域	計			田			畑		
	作 付 面 積	前年産との比較		作 付 面 積	前年産との比較		作 付 面 積	前年産との比較	
		対 差	対 比		対 差	対 比		対 差	対 比
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%
全 国	61,400	400	101	39,200	△ 300	99	22,100	600	103
北 海 道	22,200	500	102	9,960	210	102	12,300	300	103
都 府 県	39,100	△ 200	99	29,300	△ 500	98	9,860	290	103
東 北	16,200	300	102	12,800	300	102	3,390	40	101
北 陸	6,410	△ 110	98	5,920	△ 140	98	484	24	105
関 東・東山	10,200	△ 100	99	5,570	△ 290	95	4,660	230	105
東 海	604	△ 69	90	484	△ 67	88	120	△ 2	98
近 畿	1,020	x	x	989	△ 131	88	35	x	x
中 国	1,660	50	103	1,470	40	103	193	13	107
四 国	166	△ 27	86	86	△ 17	83	80	△ 10	89
九 州	2,840	△ 120	96	1,970	△ 110	95	872	x	x
沖 縄	27	3	113	-	-	nc	27	3	113

図7 そば（乾燥子実）作付面積の推移



5 豆 類（乾燥子実）

(1) 大 豆

平成25年産大豆の作付面積は12万8,800haで、他作物への転換等により、前年産に比べて2,300ha（2%）減少した。（表12）

作付面積の動向をみると、昭和40年代は外国産大豆の輸入の増加により減少傾向で推移した。その後、53年から米の転作作物として田作大豆を中心に増加したものの、63年以降は減少傾向で推移し、平成6年には過去最低の6万900haとなった。7年から15年までは米の需給調整対策の推進等から再び増加傾向で推移していたが、16年以降は上下動のある動きとなっている。（図8）

(2) 小 豆

平成25年産小豆の作付面積は3万2,300haで、前年産に比べて1,600ha（5%）増加した。（表12）

このうち、都府県における作付面積は6,060haで、前年産に比べて340ha（5%）減少したものの、北海道の作付面積は2万6,200ha（全国の約8割）で、前年産に比べて1,800ha（7%）増加した。

(3) いんげん

平成25年産いんげんの作付面積は9,120haで、前年産に比べて530ha（5%）減少した。（表12）

このうち、都府県における作付面積は746ha、北海道の作付面積は8,380ha（全国の約9割）で、前年産に比べてそれぞれ39ha（5%）、490ha（6%）減少した。

(4) らっかせい

平成25年産らっかせいの作付面積は6,970haで、前年産に比べて210ha（3%）減少した。（表12）

（表12）

このうち、千葉県で作付面積は5,360ha（全国の約8割）で、前年産に比べて90ha（2%）減少した。

図8 豆類（乾燥子実）作付面積の推移

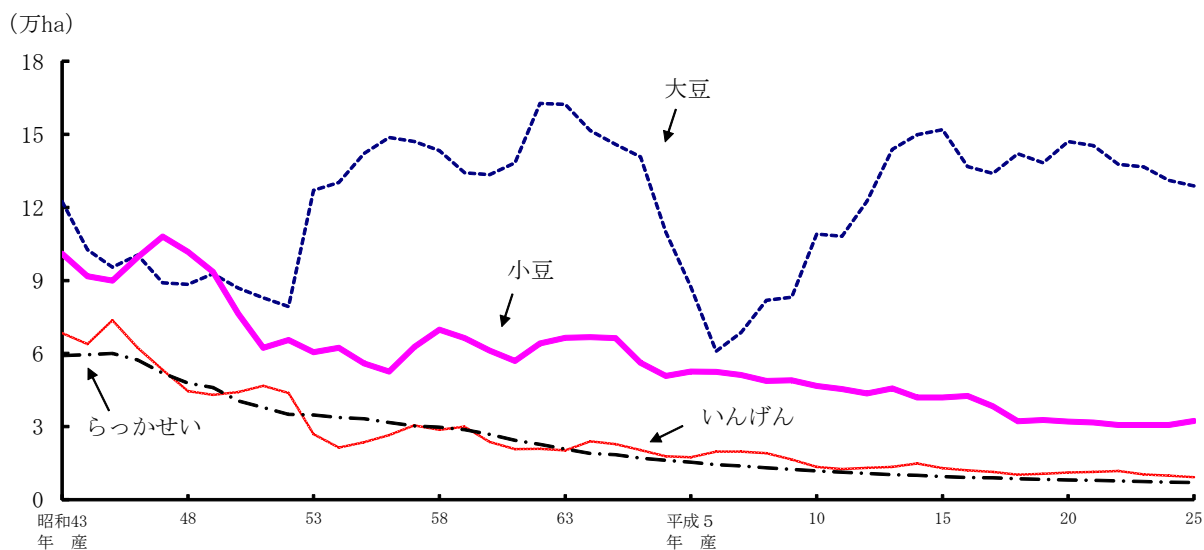


表12 平成25年産豆類（乾燥子実）作付面積

全 国 農 業 地 域	大 豆			小 豆			いんげん			らっかせい		
	作 付 面 積	前年産との比較		作 付 面 積	前年産との比較		作 付 面 積	前年産との比較		作 付 面 積	前年産との比較	
		対 差	対 比		対 差	対 比		対 差	対 比		対 差	対 比
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%
全 国	128,800	△ 2,300	98	32,300	1,600	105	9,120	△ 530	95	6,970	△ 210	97
北 海 道	26,800	△ 400	99	26,200	1,800	107	8,380	△ 490	94	-	-	nc
都 府 県	102,000	△ 1,900	98	6,060	△ 340	95	746	△ 39	95	6,970	△ 210	97
東 北	32,200	△ 500	98	1,540	△ 180	90	127	△ 16	89	x	x	x
北 陸	12,600	△ 500	96	386	△ 17	96	88	△ 3	97	33	0	100
関 東・東 山	10,600	△ 500	95	1,170	△ 60	95	502	△ 13	97	6,480	△ 180	97
東 海	11,700	200	102	142	△ 13	92	4	△ 1	80	113	△ 13	90
近 畿	9,130	30	100	1,370	△ 10	99	3	0	100	5	1	125
中 国	4,820	△ 110	98	874	△ 16	98	18	△ 5	78	16	1	107
四 国	601	△ 33	95	120	△ 5	96	3	0	100	15	△ 1	94
九 州	20,400	△ 500	98	465	△ 29	94	1	△ 1	50	298	△ 15	95
沖 縄	3	△ 1	75	-	-	nc	-	-	nc	7	△ 2	78

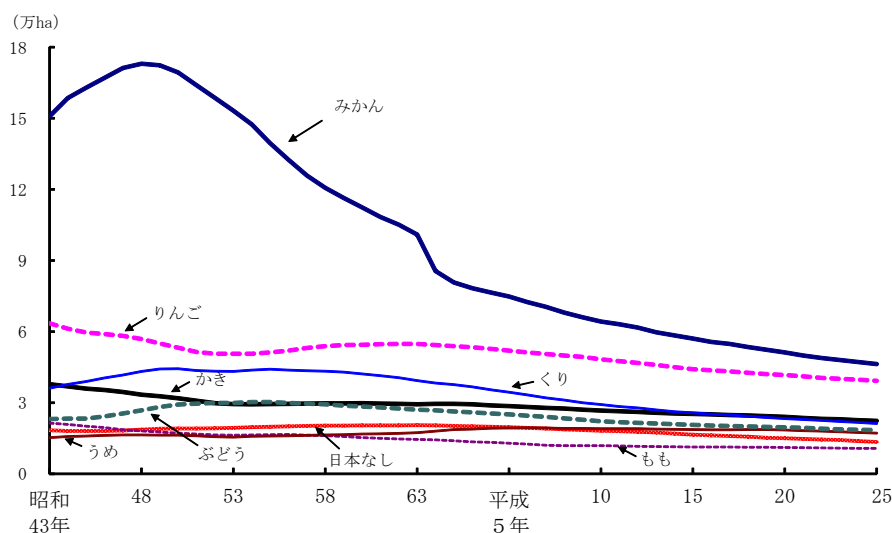
6 果 樹

平成25年果樹の主な品目別の栽培面積は、みかんは4万6,300ha、りんごは3万9,200ha、かきは2万2,300ha、くりは2万1,200haで、前年に比べてそれぞれ900ha（2%）、500ha（1%）、300ha（1%）、500ha（2%）減少した。（表13）

表13 平成25年果樹栽培面積

区 分	栽培面積	前年との比較			区 分	栽培面積	前年との比較		
		対 差	対 比	対 差			対 比		
	ha	ha	%		ha	ha	%		
み かん	46,300	△ 900	98	す も も	3,110	△ 40	99		
その他かんきつ類	27,500	△ 200	99	お う と う	4,840	0	100		
り ん ご	39,200	△ 500	99	う め	17,200	△ 200	99		
日 本 な し	13,500	△ 300	98	ぶ ど う	18,500	△ 100	99		
西 洋 な し	1,650	△ 10	99	く り	21,200	△ 500	98		
か き	22,300	△ 300	99	パインアップル	477	△ 38	93		
び わ	1,530	△ 70	96	キウイフルーツ	2,280	△ 40	98		
も も	10,700	0	100						

図 9 主要果樹の栽培面積の推移



7 茶

平成25年茶の栽培面積は4万5,400haで、前年に比べて500ha（1%）減少した。（表14）

栽培面積の動向をみると、昭和50年代半ばまでは増加傾向で推移していたものの、それ以降は漸減傾向で推移している。

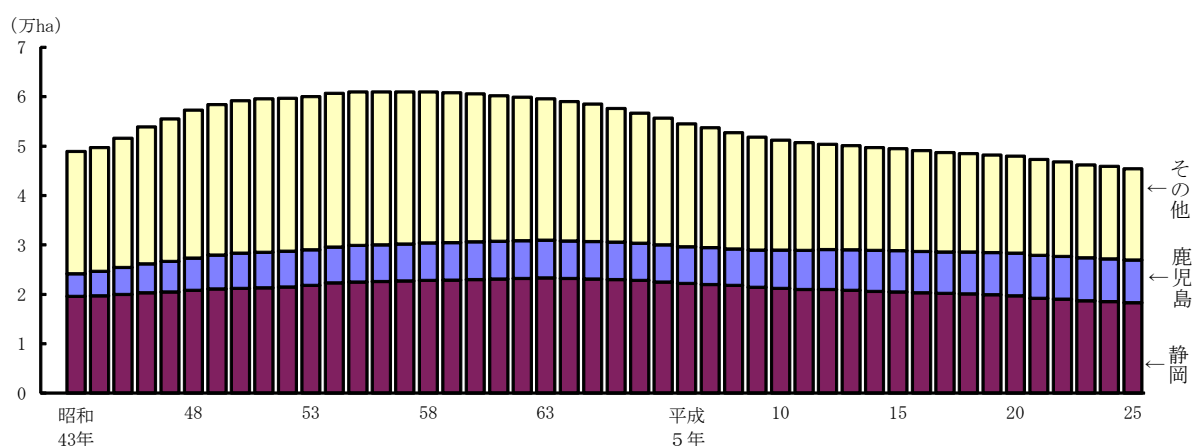
なお、主産地である静岡県においても、近年全国と同様に漸減傾向で推移している。

（図10）

表14 平成25年茶栽培面積

区 分	栽培面積	前年との比較	
		対 差	対 比
茶	ha	ha	%
	45,400	△ 500	99

図10 茶栽培面積の推移



8 飼肥料作物

(1) 飼肥料作物の作付(栽培)面積

平成25年産飼肥料作物の作付(栽培)面積は101万2,000haで、前年産に比べて1万7,000ha（2%）減少した。（表15）

(2) 飼料作物の作付(栽培)面積

平成25年産飼料作物の作付(栽培)面積は91万5,100haで、前年産に比べて1万6,500ha（2%）減少した。（表15）

ア 牧草

牧草の作付(栽培)面積は74万5,500haで、前年産に比べて5,300ha（1%）減少した。

イ 青刈りとうもろこし

青刈りとうもろこしの作付面積は9万2,500haで、前年産に比べて500ha（1%）増加した。

ウ ソルゴー

ソルゴーの作付面積は1万6,500haで、前年産に比べて500ha（3%）減少した。

これは、WCS（ホールクロップサイレージ）用稲等への転換があったためである。

エ 青刈り麦類

青刈り麦類の作付面積は9,410haで、前年産に比べて320ha（4%）増加した。

オ その他青刈り作物（WCS用稲等）

その他青刈り作物の作付面積は2万8,800haで、前年産に比べて1,100ha（4%）増加した。

これは、WCS用稲等の作付けが増加したためである。

カ その他飼肥料作物（飼料用米等）

その他飼肥料作物の作付(栽培)面積は2万2,300haで、前年産に比べて1万2,700ha（36%）減少した。

これは、備蓄米、加工用米への転換等があったためである。

表15 平成25年産飼肥料作物作付(栽培)面積

区 分	計			飼料用		
	作付(栽培) 面積	前年産との比較		作付(栽培) 面積	前年産との比較	
		対 差	対 比		対 差	対 比
	ha	ha	%	ha	ha	%
飼 肥 料 作 物 計	1,012,000	△ 17,000	98	915,100	△ 16,500	98
牧 草	755,700	△ 4,900	99	745,500	△ 5,300	99
青刈りとうもろこし	93,000	400	100	92,500	500	101
ソ ル ゴ ー	28,500	△ 700	98	16,500	△ 500	97
青 刈 り 麦 類	58,200	800	101	9,410	320	104
そ の 他 青 刈 り 作 物	30,400	1,100	104	28,800	1,100	104
れ ん げ	12,400	△ 500	96	60	1	102
そ の 他 飼 肥 料 作 物	33,600	△ 13,100	72	22,300	△ 12,700	64

図11 飼肥料作物作付(栽培)面積の推移

